

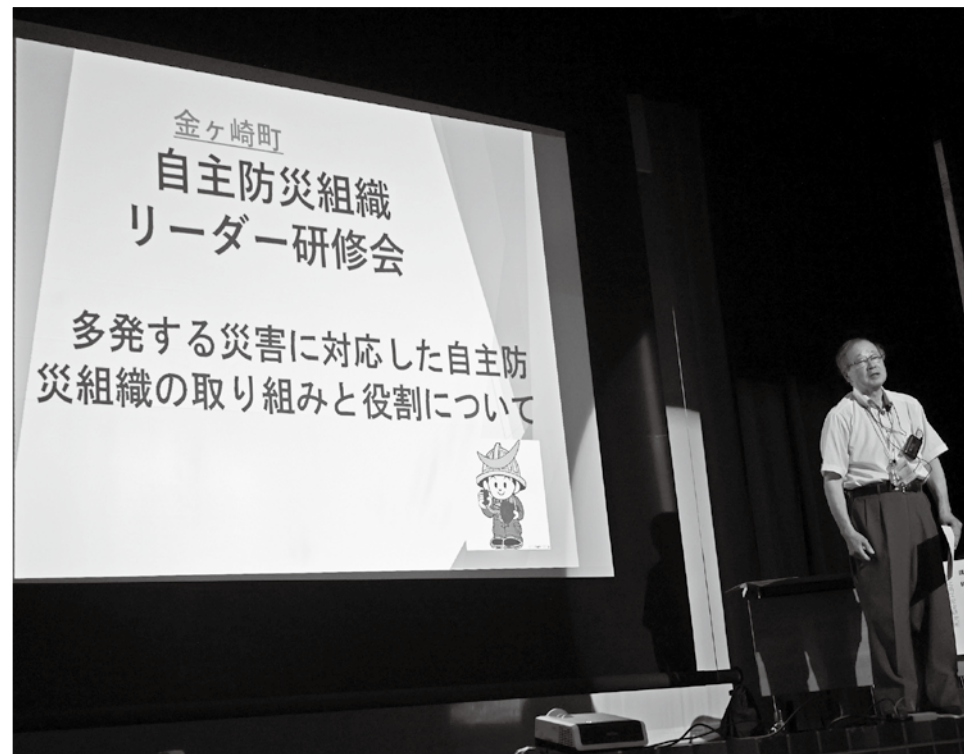
まちの話題



全国で災害現地視察の知見を有し、多くの経験に基づいた
山田先生の的確でわかりやすい説明が行われた

自主防災組織リーダー研修 自主防災の意識向上へ

令和8年度金ケ崎町自主防災組織リーダー研修が7月17日、中央生涯教育センターで開催されました。本年度は初の試みとして「消防庁防災意識向上プロジェクト」を活用し、東北防災安全研究所代表の山田修生さんを講師にお迎えして『多発する災害に対応した自主防災組織の取り組みと役割について』をテーマに、大規模災害の活動体験や防災の知見についての講演が行われました。出席した町内自主防災組織役員は、自分たちでできる取り組みや災害対応への理解を深め、今後の防災活動への意識を高めました。



クマ出没時の猟友会の射撃やサポート、町の避難想定、
広報活動など実践に向けた取り組みが行われた

町 緊急銃猟訓練 を守る体制強化

町は23日、町文化体育館で緊急銃猟訓練を実施しました。改正鳥獣保護管理法が昨年9月に施行され、令和8年3月17日に町の緊急銃猟マニュアル策定後、関係機関の職員や猟友会が参加する初の訓練です。訓練は町と関係機関により法的要件の確認、手順、認識の共有が行われ、課題や問題点への意見交換を行いました。また、クマが同体育館に出没した想定で、対応フローの項目に沿って訓練が行われました。町猟友会の猪苗代守会長は「様々な状況が想定される中、安全第一で取組めればと思う」と話しました。



狙 町スポーツ大会ゲートボール競技 いを定めて一球入魂

金ケ崎町スポーツ大会第41回金ケ崎町長旗争奪ゲートボール大会が7月12日、和光ドームで開催されました。日頃の練習の成果を発揮しようと、町内から9チームが出場。開会式では、前年度に優勝した谷地下チームの及川選手が「一打一打を大切にチームの仲間と最後まで諦めずに取り組みたい」と挨拶。一打に想いを込めた夏の熱い試合が繰り広げられました。



手に汗を握る攻防が繰り広げられた

街頭啓発を行う若狭さん（左）と八木橋さん（中央）



金 第76回「社会を明るくする運動」 中学生が一日保護司

奥州地区保護司会金ケ崎支部は7月16日、金ケ崎中学校3年の若狭来希さん、八木橋瑠花さんを「社会を明るくする運動」の一日保護司に委嘱しました。委嘱後、2人はスーパーアークス金ケ崎店で街頭啓発を行い、活動を終えた若狭さんは「保護司の活動が社会全体に広まり、より良い町になってほしい」と願っていました。

笑 金ケ崎町子育て支援センターなつまつり 顔満開の夏を楽しむ

金ケ崎町子育て支援センター（渡辺理恵所長）で7月17日、なつまつりが行われました。39人の親子が参加し、おみこしや水ヨーヨーなどの夏の風物詩を満喫。金魚すくいごっこコーナーは、西学童保育所の児童たちが作ったかわいい金魚がプールの中を泳ぎ、多くの子どもたちが集まる大人気イベント。暑い夏に親子の笑顔が咲き誇りました。



笑顔でなつまつりを満喫！！

表彰所を手にとる矢作会長（中）と高橋第一副会長（左）



多 献血推進団体等に対する厚生労働大臣感謝状 くの人々のために

ライオンズクラブ国際協会 332-B地区 3R 1Z金ケ崎ライオンズクラブ（矢作実会長）は、平成6年から32年間にわたり組織的に献血に協力したことから、7月30日に厚生労働大臣感謝状を贈呈されました。31日に金ケ崎町長へ受賞報告。矢作会長は「歴代の会員の努力の継続で受賞できた。今後も続けていければ」と話しました。